

IVF-D動画視聴・理解度チェックリスト

はらメディカルクリニック HARA MEDICAL CLINIC

診察券番号＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿　記入日　　年　　月　　日

- 必須動画 1～8 を視聴し、ご夫婦それぞれ 1 部ずつ、理解できた項目にチェックしてください。確認したいことは、裏面の質問欄にご記入ください。
- 「非匿名 AID・IVF-D 前個別説明」でご来院の際は、最初にお二人分を受付へご提出ください。 ご質問には個別説明の際にお答えします。

動画 1.IVF-D の流れ

☐ IVF-D は、卵巣刺激、採卵、ドナー精子による顕微授精、胚の培養、胚移植、妊娠判定の順に進む。
☐ 採卵した卵子がすべて受精するとは限らず、受精しても胚盤胞まで育たないことがある。

動画 2.最短妊娠のポイント①「卵巣刺激と採卵」

☐ 自然に排卵する卵子が、その周期で最も質の良い卵子とは限らない。
☐ 卵巣刺激では、自然周期では FSH（卵胞刺激ホルモン）が足りずに発育が止まる卵胞も育つ。卵巣刺激をしたことで将来の卵子を余分に使ったり、閉経を早めたりすることはない。
☐ 1 回の採卵で得られる成熟卵が多いほど、その採卵で妊娠につながる可能性が高まる。
☐ 月経 2・3 日目に、医師がその周期の卵巣の状態と要望書をもとに、卵巣刺激の方法を提案する。
☐ 採卵には短時間の静脈麻酔を使用できる。採卵中は眠った状態になり、採卵後は比較的早く目が覚める。

動画 3.最短妊娠のポイント②「培養・胚移植と不成功時の対応」

☐ 一般に、受精後 5～6 日ほどで胚盤胞まで育った胚は、初期胚より移植 1 回あたりの妊娠率が高い。
☐ 採卵数が多い場合は、胚を凍結し、子宮内膜を整えてから移植する「凍結融解胚移植」の方が、採卵周期に移植するより妊娠率の向上と副作用リスクの低減が期待できる。
☐ 胚移植で妊娠に至らなかった場合は、子宮環境と受精卵の両面から治療を見直す。

動画 4 は、卵巣刺激を受ける医療機関に応じて、4-1 または 4-2 のどちらか一方だけにご回答ください。

☐ 動画 4-1　採卵周期の開始からすべての治療を当院で受ける方
- ☐ 採卵周期を始めるときは、月経 2 日目または 3 日目に受診できるよう、自分で予約を取る。
- ☐ 月経 9～11 日目ごろに卵胞の育ち具合を確認し、必要に応じて 2～3 日後に再受診する。採卵日は月経 12～15 日目ごろが目安で、卵胞の発育により前後する。
- ☐ 胚移植の約 10 日後に、血液検査で妊娠判定を行う。

☐ 動画 4-2　卵巣刺激から LH サージまで他院で受ける方
- ☐ 承認通知メールから、①「IVF-D 卵巣刺激（LH サージまで）他院実施申請書」と②「AID 排卵管理他院実施申請書」を開き、両方に同じ紹介先を記入する。今後治療の希望が変わる可能性があるため、いずれの場合でも対応できるように個別説明の来院時に 2 種類とも受付へ提出する。
- ☐ 他院で受けるのは採卵周期の開始から LH サージまでで、採卵は当院で受ける。
- ☐ 採卵周期を開始した日（月経 2 日目または 3 日目）と採卵日が決まった日の両日とも、他院を出る前に、電話受付時間内に当院へ電話する。
- ☐ 採卵日が決まったら紹介状を他院に依頼し、採卵日に持参する。
- ☐ 胚移植の約 10 日後に、血液検査で妊娠判定を行う。

動画 5.IVF-D の副作用

- ☐ 採卵後、まれに卵巣からの出血が続くことがある。帰宅後にお腹の張り、息苦しさ、ふらつきがあれば、速やかに当院へ電話する。
- ☐ 多数の卵胞が育つと、卵巣過剰刺激症候群（OHSS）を起こすことがある。お腹の張り、だるさ、尿が出にくいなどの症状があれば、当院へ電話する。

動画 6.IVF-D で利用できるオプショナル検査・治療

- ☐ 希望するオプションは、採卵周期では月経 2 日目または 3 日目に、胚移植周期では周期の開始日に、要望書で伝える。PGT-A を検討・希望する場合は、個別説明の日に診察予約も併せて取り、医師に伝える。
- ☐ PGT-A は、胚盤胞の外側から細胞を数個採取し、見た目ではわからない染色体の数の過不足を調べる検査。流産のリスクを減らし、出産につながる胚を選ぶことを目的とする。
- ☐ 検査した胚の中に移植できると判定される胚が 1 つもない場合がある。染色体の数に異常が見つからなくても、着床しないことや流産することがある。
- ☐ 検査費用は胚盤胞 1 個につき 77,000 円または 99,000 円。検査機関によって調べられる範囲が異なり、検査する個数は選べる。検査機関や個数は、採卵後に培養士と相談の上決定できる。

動画 7.IVF-D の費用と給付金

- ☐ IVF-D は保険適用外。総額は、使用する薬、採卵数、培養・凍結する胚の数、移植回数によって変わる。
- ☐ 凍結する胚の数は夫婦で決められる。凍結胚が残っていれば再採卵の費用を抑えられ、同じ採卵周期にできた胚はすべて同じドナーの精子によるものとなる。
- ☐ 不妊治療費助成　IVF-D は多くの自治体で対象外。対象になるかは、住んでいる市区町村に「提供精子を用いた体外受精」と伝えて確認する。対象の場合、申請時期は、多くの場合が胚移植後の妊娠判定後になる。
- ☐ 民間医療保険　自費の体外受精や、先進医療として認められた技術が給付対象か、治療を受ける本人である妻から保険会社に確認する。対象の場合、申請時期は、多くの場合が胚移植後の妊娠判定後になる。
- ☐ 医療費控除　採卵・胚移植などの治療費は対象となる。領収書は再発行できないため、1 年分を保管し、翌年の確定申告に使う。
- ☐ 妊婦のための支援給付金　IVF-D による妊娠も、医師が胎児の心拍を確認すると対象となる。その後に流産・死産・人工妊娠中絶を経験した場合も対象となる。

動画 8.IVF-D の相談・サポート

- ☐ 治療の疑問や気持ちの負担は、「看護師 10 分相談」「IVF ふり返り相談」「心理カウンセリング」で相談できる。胚移植後の陰性判定、流産・死産から 3 か月以内は、無料で心理カウンセリングを受けられる。
- ☐ 不妊治療をワンオペにしないために、通院日を夫婦で共有する。「3 か月ルール」の日程管理や情報収集、家事など、夫からも担える役割を提案し、二人で分担を話し合う。
- ☐ 通院のために休暇や勤務時間の調整を職場に相談するときは、医師が治療予定や必要な配慮を記入する「不妊治療連絡カード」を利用できる。

質問欄　個別説明で確認したいことをご夫婦でまとめ、どちらか一方の用紙にのみ、箇条書きで簡潔にご記入ください。